

第 1 4 9 回 通常 宗 議 会 速 報

令和 8 年 度 曹 洞 宗 一 般 会 計 歳 入 歳 出 予 算 決 定

級 階 賦 課 金 1 点 1 4 5 円 (令 和 7 年 度 よ り 1 円 減 額)

○ 令 和 8 年 度 曹 洞 宗 一 般 会 計 歳 入 歳 出 予 算

歳 入 5 1 億 1 0 7 7 万 7 千 円

歳 出 5 1 億 1 0 7 7 万 7 千 円

(※ 歳入歳出ともに前年度より 10 億 1 5 1 8 万 6 千 円 の 減 額)

(内 訳) 5 0 億 4 6 7 7 万 7 千 円 歳 出 経 常 部 総 額

(※ 前年度より 10 億 6 千 5 1 8 万 6 千 円 の 減 額)

6 4 0 0 万 円 歳 出 臨 時 部 総 額

(※ 前年度より 1 億 1 千 6 百 万 円 の 減 額)

議 会 概 要

令 和 8 年 2 月 16 日、第 149 回 通常 宗 議 会 が 招 集 さ れ、会 期 5 日 間 に わ た り 主 に 令 和 8 年 度 予 算 に つ い て の 審 議 が 行 わ れ た。招 集 初 日、石 附 周 行 猥 下 管 長 就 任 式、宗 議 会 成 立 に 関 す る 集 会、開 会 式、常 任 委 員 指 名、服 部 秀 世 宗 務 総 長 に よ る 施 政 方 針 演 説 が 行 わ れ た。

内 容 は ① 曹 洞 宗 所 有 不 動 産 再 開 発 推 進 委 員 会 ② 建 て 替 え に 伴 う 宗 務 庁 の 仮 移 転 候 補 地 ③ 災 害 見 舞 金 制 度 ④ 災 害 対 応 ⑤ 本 年 度 実 施 の 各 種 総 選 挙 ⑥ 僧 堂 関 係 ⑦ 布 教 教 化 に 関 す る 告 諭、並 び に 布 教 教 化 方 針 ⑧ 青 少 年 書 道 展 ⑨ 教 化 資 料 ⑩ 出 版 部 関 連 ⑪ 伝 道 部 関 連 ⑫ 人 事 部 関 連 ⑬ 人 権 擁 護 推 進 本 部 関 連 それ ぞ れ に つ い て の 演 説 で あ っ た。

そ の 後、提 出 議 案 14 本、承 認 を 求 め る 件 2 本 が 上 程 さ れ た。

継 続 審 議 と な っ て い た 「東 京 グ ラ ン ド ホ テ ル 営 業 を 終 了 す る 件」と 「曹 洞 宗 土 地 ・ 建 物 再 開 発 に 係 る 契 約 及 び 入 札 の 倫 理 審 査 に 関 す る 規 程 制 定 案」 に つ い て の 特 別 委 員 長 の 報 告 が な さ れ た。東 京 グ ラ ン ド ホ テ ル 営 業 を 終 了 す る 件 に つ い て は、継 続 審 査 を 望 む 報 告 が な さ れ、今 次 宗 議 会 の 特 別 委 員 会 に 付 託 さ れ た。さ ら に 議 員 発 議 の 上 記 規 程 制 定 案 は 「曹 洞 宗 役 職 員 倫 理 規 定 制 定 案」 と し て 採 決 さ れ た。

翌 日 よ り、各 案 件 を そ れ ぞ れ の 常 任 委 員 会 ・ 特 別 委 員 会 に 付 託、全 て の 議 案 が 審 議 に 入 り、有 道 会 ・ 總 和 会 を 代 表 し て の 「総 括 質 問」 に 続 き 「通 告 に よ る 一 般 質 問」 12 本、「文 書 質 問」 3 本 が 提 出 さ れ た。

そ の 後、各 委 員 会 に 付 託 さ れ た 案 件 の 審 議 が 行 わ れ、最 終 日 に、そ れ ぞ れ の 委 員 長 か ら 審 議 の 報 告 を 受 け、令 和 8 年 度 の 曹 洞 宗 一 般 会 計 歳 入 歳 出 予 算 案 並 び に 補 正 予 算、ソ ー ト ー ビ ル 建 替 え の 件、東 京 グ ラ ン ド ホ テ ル の 営 業 を 終 了 す る 件、曹 洞 宗 宗 務 庁 仮 移 転 候 補 地 選 定 に つ き 承 認 を 求 め る 件 に つ い て は 可 決、不 動 産 開 発 に 関 す る 基 本 条 件 を 求 め る 件 に つ い て は 否 決 さ れ た。

○ 一 般 会 計 歳 入 歳 出 予 算 額 5 1 億 1 0 7 7 万 7 千 円

前 年 度 当 初 予 算 と 比 較 し、10 億 1 5 1 8 万 6 千 円 の 減 額 と な っ た。

こ れ は、前 年 度 に 曹 洞 宗 育 英 会 規 程 の 廃 止 に 伴 う 資 産 受 入 れ や、図 書 印 刷 物 等 刊 行 特 別 会 計 お よ び 檀 信 徒 会 館 特 別 会 計 か ら の 元 入 金 繰 入 れ と い っ た 一 時 的 な 収 入 増 が あ っ た こ の 反 動 で あ る。歳 出 に お い て は、規 程 変 更 に よ り 災 害 対 策 特 別 会 計 へ の 繰 入 金 を 減 額 し た 一 方、近 年 の 物 価 上 昇 や 予 算 全 体 に 対 す る 割 合 を 考 慮 し、予 備 費 を 増 額 計 上 し た。

以 上 を 踏 ま え、物 価 高 が 続 く 厳 し い 状 況 を 考 慮 し て 事 業 を 再 検 討 し た 結 果、級 階 に よ る 賦 課 金 は 1 点 あ た り 145 円 に 決 定 し た。

○一般会計歳出臨時部予算額 6400万円（内訳）

1 款 - 学校法人愛知学院創立 150 周年記念教育振興支援金	500 万円
2 款 - 学校法人世田谷学園創立 125 周年記念教育振興支援金	500 万円
3 款 - 国外における宗立専門僧堂開設準備費	100 万円
4 款 - 全国宗務所長会結成 50 周年祝賀金支出	100 万円
5 款 - 曹洞宗不動産再開発推進委員会費	5000 万円
6 款 - S D G s 推進事業費	200 万円

宗務総長演説より(抜粋)

○曹洞宗所有不動産再開発推進委員会について

- ・(株)インデックスコンサルティングとの契約に関して、委託先代表者の委員就任については、本宗弁護士から開発主体とならないため利益相反がないとの見解である。
- ・再開発原資として約 58 億円が捻出可能だが、将来の宗門財政や不測の事態への備えを考慮し、自己資金の投入や借入金への依存は極力避けるべきとの判断をした。
- ・老朽化が著しい現状と、将来的な宗門の人口減少・収入減を見据え、港区の一等地である所有不動産を最大限有効活用する必要がある。
- ・委員会において PM からの提案・助言を基に検討の結果、内局として「定期借地権」を利用した開発手法が最良であると考えます。

○建て替えに伴う宗務庁の仮移転候補地について

- ・ソートビル建替に伴う仮移転先は、施設要件や港区近郊の賃料高騰（年約 4 億円）を考慮し、最適地である「鶴見大学会館」を候補と判断した。
- ・現在、学校法人と条件交渉中だが、今次宗議会にはまず候補地選定の件を上程し、ご承認を得て詳細な契約準備を進めたい。
- ・次期 6 月宗議会での正式決定を目指す。万一交渉等の条件が整わない場合は、移転先を再考する必要がある。

○災害援護拠出金について

- ・令和 8 年 4 月からの制度変更により、基本拠出金は全寺院一律 2,500 円に据え置く一方、付加拠出金は毎年見直すことになった。付加拠出金の単価は、次年度の損害保険料や建物共済加入口数に応じて変動する仕組みとなる。

○僧堂関係について

- ・僧堂における不祥事発生時の初期対応マニュアルを顧問弁護士の監修のもと作成した。

○青少年書道展

- ・本年 60 回むかえ記念大会として文部科学省、(株)よみうりランドに後援を頂けることになった。表彰式も鶴見中学校・高校記念講堂において執り行う。

○梅花流創立 75 周年記念奉賛大会

- ・検討を重ねた結果令和 9 年 5 月 26 日の一日開催として、会場候補地を「東京ガーデンシアター」に決定した。

○人権擁護推進本部関係について

- ・本年度の新規事業としてポッドキャストの配信をする。タイトルは「わわわ」とした。タイトルの由来は人権と言う主題を巡る「話」が耳から入りそれが人々の「和」を醸成し、やがて大きな「輪」となると言う願いを込めている。

【詳しくは有道会ホームページ・曹洞宗報 5 月号をご参照ください】